

# あしや 市議会 だより

2025年8月 No.133

## 歌声で みんなを笑顔に



精道中学校  
合唱部

聴いてくださる方に笑顔になってもらえるように、12名の部員がハーモニーを感じながら楽しんで歌うことを心がけ、夏のNHK全国音楽コンクールに向けて練習中です。お互いの声を聴き合い、歌詞を味わうことを意識しながら、コミュニケーションを大切にして、みんな仲良く活動しています。

●注目の議案をPick up ●一般質問 ●議会新体制の紹介

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。  
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

# 注目の議案

令和7年  
5月臨時会  
5月16日  
(1日間)

令和7年  
6月定例会  
6月6日～  
6月27日  
(22日間)

5月臨時会および6月定例会では全部で13件(市長提出議案…11件、議員提出議案…1件、請願…1件)の議案等が審議されました。今号では、この中から3つの項目をピックアップして紹介します。

## Pick up1

(第55号議案)

### 市立小中学校体育館への空調設備設置工事の実施

**可決**  
(全員一致)

#### 【内容】

地球温暖化の影響による酷暑日の増加に伴い、暑い日も多いため、安心して身体を動かせる環境の実現に加え、大規模災害時に避難所としても利用される小中学校の体育館に空調設備を設置するもので、条件付き一般競争入札の結果、株式会社三田工務店と7億4602万円を契約しようとするもの。



議案

#### 委員会での質疑

**議員** 1回目の入札が不調となった後、予定価格の見直しをどのように行ったのか。

**教委** 応募業者へのヒアリングにより、予定価格と業者の積算価格に乖離があることが判明した。特に小中学校9校を一齐に行う設備工事が影響し、下請け業者の確保が非常に難しい。対応可能な業者もあるものの、価格

が高くなることが判明し、通常の積算では対応できないため、再度点検し積算の見直しを行った。

**議員** 具体的な工事の期間は？

**教委** まず工場で空調機器を製作し、その後、搬入して据え付けるが、空調機器の製作には3、4カ月程度かかる。ガス式空調機器を使用するために必要となる体育館へのガスの配管工事についてはできるだけ早期に進めたいと考えているが、体育館内部での作業は、空調機器が完成してから行うため、少なくとも秋以降になる見込みである。

**議員** 設置工事により体育館が使えない期間は生じるのか。

**教委** 体育館が使えない期間は発生するが、事前に学校に行事などのタイミングを確認している。また、体育館が1、2カ月使えないことが許容できるかについても学校に確認

し、必要に応じて半分ずつ使う形で授業を進めるなどの調整も行っている。影響を最小限に抑えるよう、しっかりと調整しながら工事を進める。

**議員** 広い体育館には設置が難しい課題もあるが、災害時に避難所として使用する場合には、床置き空気清浄機を設置するなど、将来的には感染症への対策を検討する必要があるのではないか。

**教委** 基本的には定期的に窓を開けて換気をしている。災害時の感染症対策等については、防災の担当課の方針もあるため、調整していく。



## Pick up2

(第54号議案)

### JR芦屋駅周辺の駐輪場を新設・廃止

**可決**  
(全員一致)

#### 【内容】

JR芦屋駅北船戸自転車駐車場、JR芦屋駅北大原自転車駐車場およびJR芦屋駅南自転車駐車場10の供用を開始するほか、JR芦屋駅南自転車駐車場1および3の供用を廃止するもの。

**議員** 新たにラポルテ本館と西館の間の歩道上に設置する駐輪場の仕様や路面整備の必要性は？また、用途廃止後にラポルテの駐輪スペースとする考えはないのか。

**市** 平面上に平置きする仕様で線により区画する。路面に凹凸がある場合は併せて整備する。JR芦屋駅南の再開発事業により地下駐輪場ができた後は、全体の利用状況を見ながら改めて考える必要も出てくると思うが、現時点では暫定の整備と考えている。

**議員** 駐輪場の空きを待つ自転車の混雑を緩和できる可能性もあるため、ラポルテの施設と連携しながら対応できないか。

**市** ラポルテ東館の店舗を利用したい方がラポルテ北館の駐輪場で空きを待つこともある。そのことも含め、どのような対応ができるか検討したい。

#### 委員会での質疑

**議員** JR芦屋駅南の駐輪場を利用している自転車の定期利用者が、サイカパーク3に移行すると現在よりも駅から遠くなるが、案内の徹底や移行後の誘導は？

**市** 現地で周知するほか、定期更新の際には併せて説明する。また、移った後についても、混乱のないように管理員による誘導や巡回も含めて対応していく。

**議員** 新たな駐輪場の設置場所は、現在と比べると利便性が悪くなるが、不法駐輪が増えるのではないか。

**市** 現在も巡回を1日3回行っているが、その頻度を増やす方向で検討している。



J R 芦屋駅周辺自転車駐車場配置図

# 一般質問

6月16日から18日までの3日間に17人の議員が、計40項目の一般質問を行いました。内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページ「議会中継」をご覧ください。



詳しくはこちらから



**（請願第11号）**  
**Pick up3**  
**国に対し「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正をを求める意見書」の提出を求める請願書**  
**採択**  
 （賛成多数）

**【請願事項】**  
 現行の「刑事訴訟法の再審規定」について、次の2点に留意した改正を求める意見書を国に提出することを求めるもの  
 (1)再審における検察手持証拠の全ての開示を制度化する。  
 (2)再審開始決定に対する検察の「不服申し立て」の禁止を制度化する。

※再審とは、確定した判決について、主として事実認定の不当を推測できる顕著な事由がある場合に、当事者の請求に基づいて当該判決についても一度審判する非常救済手続のこと



請願

## 委員会での質疑

**議員** 検察手持証拠の全ての開示となると実務上大変なことにならないか。  
**紹介議員** 捜査機関がどのような証拠を持っているのかを知る事ができない状況であり、事務が膨大になることをもって証拠が開示されず、罪のない人が犠牲になってよいということにはならない。これが再審法改正の原点であると考えている。

**議員** 再審法改正のための国会議員による議員連盟が発足したが、国会ではどのような進捗になっているのか。  
**議員** 検察が再審開始決定に対して適切な抗告を行うことは、手続の公平性を担保しており、誤った再審開始の判断を是正するために不可欠である。一律に禁止すると違法・不当な決定が是正される機会を奪ってしまうのではないかと。  
**紹介議員** 55年以上前に即時抗告を禁止しているドイツでもそのようなことはない。再審公判の中で審査も行われ、検察側も主張できるため支障はない。  
**議員** 再審法改正のための国会議員による議員連盟が発足したが、国会ではどのような進捗になっているのか。  
**議員** 国に対し意見書を提出する場合には、請願項目に挙げている具体的な内容ではなく、適正な再審制度とするよう求める内容にしてはどうか。  
**紹介議員** 請願項目の2点については、議員連盟の中でも重要な課題認識を持っている点であり、曖昧にすると再審法の課題について、市民にも分かりにくいものになりかねない。

### 福井 美奈子

#### 命に関わる暑さ対策について

**議員** 高齢者の熱中症による救急搬送が増加しているが、その実態把握と対策の進捗状況を問う。  
**市** 消防による搬送状況等から実態を把握している。予防対策は、ホームページや救急講習会等を通じて啓発をしている。  
 今後高齢者生活支援センター等でのチラシ配布や、在宅介護のヘルパー等による声かけのほか、外出を伴う高齢者向け事業においても、注意喚起を実施し、熱中症に対する警戒を呼びかけていく。  
**議員** 猛暑の時期、長期間の外遊びが困難となる未就学児に向け、ラポルテホールを開放できないか見解を問う。  
**市** ラポルテホールのクーリングシェルターとしての活用は、施設管理や利用者の安全確保のための設備や体制を整える必要があるため、実施できる状況にない。



### 寺前 尊文

#### 不適切なごみ投棄へ対応強化を

**議員** ごみ収集車やパイプライン施設は税金を原資とする市民の公有財産だが、不適切な投棄により車両火災、管路の閉塞により車両火災、管路の閉塞が相次いでいる。直近の被害額は？  
**市** 車両火災については、令和4年度は、令和5年度に1件、令和6年度に2件、前年度はなかったものの、今年度は直近まで1件であり、合計の被害総額は約190万円、車両の修理等には保険を適用している。  
 管路の閉塞については、前年度は、復旧経費が約300万円、臨時のごみ収集車の経費が約60万円であり、今年度は、4月、5月の2カ月で、復旧経費が約317万円、臨時のごみ収集車の経費が約45万円である。  
**議員** 悪質な投棄により被害が出た場合は損害賠償を請求すべきでは？  
**市** 投棄者が特定され原因が明らかになれば、投棄者に対して損害賠償を請求するなど、強い姿勢で臨む。  
**議員** リチウムイオン電池に起因する収集時の火災が全国で急増している。市民へ回収方法の啓発を。  
**市** 危険性が伝わりやすい動画での発信や、使用されている製品の例示など、正しいごみの出し方を分かりやすく周知し、不適切なごみ投棄がなくなるよう啓発していく。



市内で発生したリチウムイオン電池による収集車の火災(写真提供:秘書・広報課)



## 精道こども園の視察を行いました

7月15日に民生文教常任委員会の委員等が参加し、現在の場所での開園から約4年が経過した精道こども園における保育の現状を確認するため、視察を行いました。  
 園長からは、こども園の保育の方針や一日の様子に加え、ICT機器を活用した教育・保育の取り組みの紹介があり、委員からはこども園における看護師の配置体制や施設の安全面への対応状況を確認しました。また、保育室などの見学では、保育教諭の方々のこどもに向き合う姿とこどもたちの生き生きとした元気な笑顔を間近で見ることができ、とても有意義な視察となりました。



### 川上 あさえ

#### 包括的な相談支援を行う重層的支援体制の整備について

**議員** 庁内外の連携体制にどのように取り組んでいるのか。  
**市** 福祉センターに設置している総合相談窓口を中心に、各分野の関係機関との情報共有・課題検討を行う多機関協働支援会議や、多機関の担当者が参加して支援方針を決定する支援調整会議などの会議体を事業当初から設置し、体制を構築している。  
**議員** 市立図書館との連携に伴う学校図書館の位置付けは？  
**教委** 今後の学校図書館の蔵書の在り方は、これまでどおり図書選定に係る委員会を開催するなど、図書選書基準および除籍基準を基に、学校図書館がこどもたちにとって本に親しむ大切な場所となるよう、蔵書の充実を図っていく。  
**議員** 新聞を活用した教育現場の取り組みは？  
**教委** 実際の新聞紙を活用して学級新聞を作成するなど、授業の中でも積極的に取り入れており、今後も活字の大切さや、手に取ることの経験を育む機会を設けていきたいと考えている。



#### 学校図書館の在り方について

#### 熱中症対策について

**議員** 熱中症特別警戒情報が発令された際の市立学校の対応は？  
**教委** 熱中症特別警戒情報は前日の午後2時に発令される。その場合は、関係課と協議の上での判断になるが、学校園については臨時休校・休園の方向で考えている。



**議員** SAF（持続可能な航空燃料）の活用拡大に対し、廃食油の回収拠点の拡充方針を問う。  
**市** 一般廃棄物処理基本計画では、基本方針の一つとして、多様な主体との連携を掲げており、持続可能な循環型社会を目指すには、事業者との連携は欠かせない。事業者が協力してもらい、店舗等への回収ボックスの設置を進めたいと考えている。

### 取り残される人をなくすために

**議員** 災害時に自ら避難することが困難で、特に支援を要する人を登録している「要配慮者名簿」について、自主防災会等の名簿受け取り率は？



**市** 現在の自治会の名簿受け取り率は、81団体の45団体で約56%、自主防災会の名簿受け取り率は、69団体の4団体で約6%であり、平時から個人情報を持つという負担感の大きさが、伸び悩む要因だと考えている。

**議員** 名簿活用に向けてガイドブックの作成が必要ではないか。

**市** あしや防災ガイドブックの要配慮者支援のページで、地域支援者の活動を例示している。また、好事例を紹介したチラシを要配慮者名簿の受け渡し時に渡すとともに、ホームページでも公開している。

今後も、要配慮者名簿を適切に管理し、共有先に活用してもらつたことにより、要配慮者の支援に取り組んでいく。

### 一人に寄り添う英語教育について

**議員** オンライン英会話の導入について市の見解は？

**教委** オンライン英会話は、ICTを活用した学習手法の一つとして、英語での対話の機会を提供できる可能性があること認識している。他市の事例なども参考に、対面での実践的な学習とのバランスを図りながら、引き続き研究していく。

### 防災意識の向上への取り組みについて

**議員** 毎年行われている防災総合訓練でのイベントは、どのようなことを視野に入れて内容を決定しているのか。災害時の実際の対応に即した訓練を行うことを求める。



**市** 防災総合訓練では、参加者に災害を正しく恐れ、正しく備えることを学んでもらいたいと考えている。楽しみながら災害のリスクを知り、今後の対策・対応に生かしてもらえるよう、体験型のイベントを中心に開催してきた。震災の経験を踏まえて、市民の意識を向上できるように発信の仕方等も工夫しながら進めていく。

### 学校の水泳実技授業について

**議員** 泳ぎが苦手な生徒にどのような指導を行っているのか。

**教委** 泳力差によって水泳嫌いにならないように、個々の泳力に応じて自分で泳ぎ方を選んだり、グループの力を借りたりして水の抵抗や恐怖感をできるだけ抑えながら取り組めるように意識して指導している。

**議員** 自身の身を守るため、顔を上げた泳法の指導を行うことを求める。

**教委** 水難訓練において着衣のまま泳ぐ体験を低学年からしていたり、もし川に落ちた場合は、慌てず大の字で浮くというような話を担任からも学校の通信でも伝えていく。



### 不登校支援について

**議員** 成績評価の対象になる自宅学習の例を挙げ発信すべきではないか。



**教委** 学習すること自体が一つく不登校となる児童生徒にはプレッシャーになる可能性がある。まずは、相談できる環境が大事であり、これまでどおり連携を取りながら、児童生徒に適切な支援をしていく。

**議員** 家庭と学校をつなぐ不登校の専門部署の設置はハードルが高いのか。

**教委** 専門部署の設置は考えていない。昨年度にスクールソーシャルワーカーを増員し、今年度からPEACEサポーターを全小中学校に配置して、支援体制の充実に努めている。今後も関係機関との連携を密にし、適切な支援を進めていく。

### 教師の戦争に関する発言について

**議員** 日本の戦争は侵略戦争だと考えているのか。

**教委** 学習指導要領では「侵略」という言葉ではないが、「我が国が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたことについても触れることが大切である。」と示されている。教員は要領に基づく指導であるかを常に立ち返りながら教育活動を行うことが大切だと考えている。

**議員** 大東亜戦争に関して教師の軽はずみな発言があった場合の対応は？

**教委** 場合によっては、教育委員会が監督者として指導することもあり得るが、まずは教員自身で振り返ってもらい、学校長も含め、当事者同士での対話を促していく。

### 夏休み等長期休業中のお弁当当配について

**議員** 昨年の夏休み期間中に試行実施された放課後児童クラブでのお弁当当配食は、食中毒対策や働く保護者の負担軽減につながり好評だった。今年も継続実施するのか。



**教委** 本年度も引き続き試行実施する。**議員** 試行実施を通じて見えた課題とその改善方針は？  
**教委** 実施回数を増やしてほしいという意見が多くあり、また、お弁当の内容は栄養バランスが取れたものにしてほしいという一方で、もう少し子ども向けのメニューにしてほしいといった意見もある。

これらの意見を踏まえて、本年度は実施回数を週2回から週5回に増やし、引き続きメニューを含めて検証を進めていく。

**議員** 同様のニーズがあるあしやキッズスクエアでの導入について、現在の検討状況と今後の方向性は？

**教委** あしやキッズスクエアは、地域の方がスタッフを務めるなど、放課後児童クラブとは運営方法が異なることから、現段階での導入には課題があると考えている。引き続き、放課後児童クラブでの試行実施の状況も踏まえて、課題の整理を行っていく。

### いじめの安心・安全について

**議員** 5月に立川市で発生した小学校への不審者侵入事件を受けて、どのように対応したか。また、今後の対策強化のため備品の充実を求める。



**教委** 速やかに各学校園に対して、不審者対応マニュアルや対応手順を再度確認することや、積極的に警察と連携して訓練を実施することを通知した。

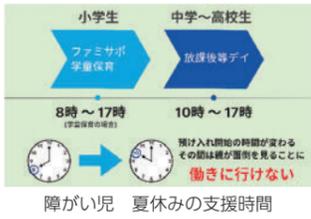
今後も訓練を重ね、不審者が侵入した際の避難や対応方法、防犯装備について、常に見直しを行い、いじめの命を守ることを最優先に、さらなる安全対策を進めていく。

### 障がい児童と家庭のサポート

**議員** 児童が中学、高校に進学するにつれて支援がなくなり保護者が働けない。預け入れ先の拡充や通学支援の導入について検討を求める。

**市** 障がい児通所支援事業の早期サービスは、事業所の人材不足などにより難しい。本市独自の新たなサービスは考えていないが、障がい児や保護者等の実態に即したサービスが提供されるよう十分な財政措置を講じることを、国に要望している。

通学支援については、保護者が急病で入院するなどの緊急時には、移動支援事業を利用して、事業の利用範囲の拡充や新たなサービスの創設は考えていないが、他市の事例も参考に研究していく。



### 病児保育の利用促進について

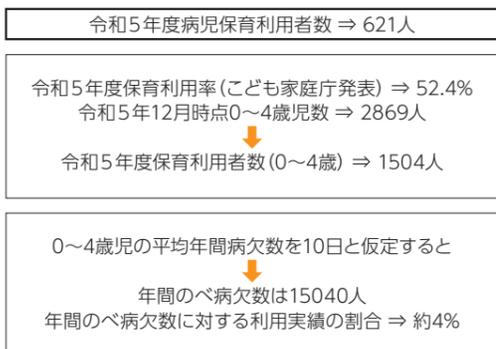
**議員** 年間延べ病欠数に対する病児保育の利用者は約4%と極めて少ない。潜在ニーズの把握としても物足りない数字だと考えるが、潜在ニーズについてどう考えているか。



**市** これまでの利用実績に鑑みると、利用者のニーズには、一定対応できていると認識している。今後5年間のニーズ量についても、第3期子ども・若者輝く未来プラン「あしや」において、充足していると認識している。

**議員** 現状は電話予約が必要など、利便性が悪い。利用者数が伸びない理由の一つだと考えるが、システムなどで利便性の向上はできないか。

**市** 病児保育利用者の利便性向上は重要であるため、病気の子どもを安全に預かることができることを前提に、手法を研究していく。



利用者は年間延べ病欠数に対して非常に少ない。一般的には病欠者の50%程度が病児保育を希望すると言われているため潜在ニーズは大きい。

### 市民の財産を未来へつなぐ！

**議員** 上下水道の現状と巨大地震への備えは？



**市** 上下水道は高度成長期に敷設した管路を中心に、老朽化が進展している。巨大地震への備えは、市内11か所の耐震性貯水槽の設置、関係各所との災害時応援協定の締結のほか、応急給水支援などの枠組みも備えている。

**議員** 道路公園包括管理業務委託で多くの市内業者を排除したと言われかねない選定をした理由は？ 以前の道路公園と街路樹の2つの委託契約の体制に戻すべきでは？

**市** 市内業者を排除する考えはなく、市内業者に道路公園の維持管理に携わってもらいたい思いに変わりはない。

現在の包括管理業務は本年4月から開始しており、市民サービス向上のために一体的な実施が適切と判断していることに加え、適切な選定プロセスで受託者を決定しているため、選定結果を見直す考えはない。

**議員** 災害復旧の迅速化のための地籍調査の現状は？

**市** 地籍調査事業の進捗率は、令和6年度末で7.6%である。国からの補助金額の縮小や人員体制確保等の課題はあるが、大規模災害発生時のスムーズな復旧につながるため、引き続き実施していく。



すぐ近くのプランコで親子が遊ぶ中、市外業者が機械で除草作業をする様子 (5月15日 宮塚公園)

### 保育所等を利用する保護者の要件について

**議員** 保育所等に入所・継続利用するために保護者が満たすべき本市の「就労」要件は、児童の保護者が保育を必要とした場合に、神戸市や西宮市の「就労」要件と比較検討し、「就労」要件を満たしやすいのは、どの市と言えるのか。



**市** 本市の場合は、1日4時間以上、週4日以上の就労が必須であるため、神戸市の月当たり64時間以上の就労という要件のほうが、さまざまな働き方に対応できるものと考ええる。

**議員** 保護者目線で芦屋市の「就労」要件の緩和は可能なか。

**市** 急速な社会状況の変化で、さまざまな働き方が増えていることは承知しているが、いまだに入所待ち児童がいる状態のため要件を緩和すると、待機児童が増える。

また、週4日以上働いている方の子どもが入所できない可能性があるため、今のところすぐに要件を緩和することは考えていないが、待機児童がもう少し減るなど、市の状況が変化すれば、見直すことは考えられる。



◆その他の質問  
市民課の窓口体制について

### 学校給食の喫食回数増加について

**議員** 中学校は神戸市より年間18回も少なく、増加を希望する保護者の要望をどう捉えているのか。



**教委** 学校給食連絡協議会での保護者の要望等は、施策への反映に努めている。中学校の給食回数は、増やす方向で検討している。  
**議員** 学校給食連絡協議会は議事録もなく、参加できない保護者に対して要望等の情報共有をなぜしないのか。

**教委** 意見を伺う場であるため議事録として残していないが、きちんとメモを取り、要望には一つ一つ丁寧に対応している。

### 大阪・関西万博への支援について

**議員** 他市では自治体が主体となり民間との共同支援を実現しているが、なぜ芦屋市ではできないのか。

**市** 万博は最終的には各個人で判断して行くものだと考えている。参画自治体として、本年4月20日に実施した「芦屋市の日」の出展に加え、「ひょうごフィールドパビリオン」にヨドコウ迎賓館を位置付けるなど、本市の資源を活用している。万博を盛り上げるという視点を持って今後でも取り組んでいく。



神戸市が開催する万博クルーズ

**◆その他の質問**  
・コ×価格高騰への行政の対応について  
・個人宅の防犯カメラ設置支援について

### 道路・公園と街路樹の包括管理業務委託について

**議員** 本年4月から業務を担う笠谷工務店Jvからは、市内業者の活用割合を8割にするという提案があったが、実際の数値を問う。また、業務別ではどうか。



**市** 業務全体に対する市内業者の活用割合は、本年6月時点で51.5%となっており、市内の事業者17者、市外の事業者16者で構成されている。業務別では、例えば植栽等の維持管理は44.4%、照明施設等の維持管理は40%となっている。

### 給食費無償化と質の両立を

**議員** 国が給食費を無償にすると、芦屋の給食の質は下がるのか。市が予算をつけることや、国に予算を要求することが必要なのではないか。

**教委** 国の制度設計がまだ明らかでないが、もし国の財政負担が交付税措置という形で行われることになれば、本市は不交付団体であるため、全額市の負担になる可能性がある。そのような課題も含めて、無償化については、まずは今の給食の質の担保を大前提とし、自治体間で不公平がない制度となるよう、県の教育長協議会など、さまざまなか場で要望をしている。

**◆その他の質問**  
・子どもの権利から考える「不登校支援」について

### おむつサブスクの導入について

**議員** 業務改善の実例があるのに、なぜ保護者と保育士の負担に目を向けないのか。



**市** 現段階では、保護者から強い希望は聞いておらず、保育士との調整等も行っていないため、導入は考えていない。  
**議員** 「声なき声は優先度が低い」とし、人的コスト＝職員の時数を理由に対応しないのか。

**市** 限られた人件費と時間の中で業務を行っているため、施策判断の優先順位があり、既に頂いている意見に対応することも必要である。さまざまな制度があることも踏まえ、市民サービスが向上することであれば検討していきたい。

### 外国人住民の増加について

**議員** 日本の教育・治安・文化を守りつつ、多文化共生を進める視点が重要と考える。他市を参考に日本語や日常生活のサポートを検討してみようか。

**教委** 来日間もない児童生徒への支援は、その状況に応じて、母語・日本語支援員を配置し、日本語を短期集中的に学習する機会を設けている。  
また、「外国人のための生活ガイド」をホームページに掲載し、くらしの情報などを紹介している。併せて、外国人支援ポータルサイトのリンクも掲載し、日常生活に役立ててもらえるよう努めている。



手ぶらで登園する「おむつサブスク」の導入

### 消防団の防災力強化に向けて

**議員** 消防団の位置付けと消防本部との関係は？

**市** 消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」をスローガンに、地域における防災リーダーとして、平常時・非常時を問わず、市民の安全と安心を守るといふ重要な役割を担っている。かけがえのない存在であり、地域防災において消防本部と車の両輪として位置付けている。



**議員** 近年の市内での火災発生状況と消防団の活動実績は？  
**市** 過去5年間の火災発生件数は大小合わせて66件である。消防団の火災現場への出動件数は10件であり、現場への出動まではいかず、有事に備えて各分団の詰所に待機した件数は21件である。

**議員** 装備や手当の充実が進んでいる一方、出動減少により新入団員等の経験が不足している。団の判断が必要だが経験と技術を有し火災出動に支障がない範囲であれば条例に定められている市内在住・在勤要件の緩和を考へてはどうか。

**市** 基本的には、市外に転居した団員は、転居先で経験を生かして地域に根差した活動を継続してもらえたらと考えている。しかし、例えば消防団内部で市内在住・在勤要件の緩和の必要性があるという意見が圧倒的である。消防団長もその意向であれば、話し合いの場を設けることはできると考えている。

**◆その他の質問**  
・市内業者育成を目的とした重機・車両購入補助の創出について

### 時代状況を的確につかむ力を

**議員** きな臭さが増す現在が戦争と平和との関係でどのような時代状況にあるのか正しく認識する力をつけることが、次世代への継承の大切な中身では？



**市** 平和をつくり上げるには、一人一人が平和を思い、考え、行動し続けるプロセスそのものが重要であると考えている。  
8月23日には、戦後80年及び非核平和都市宣言40周年記念あしや平和の集いを開催予定である。戦争の悲惨さと平和の尊さを市民と共有し、未来世代への継承を進める重要な機会だと位置付けている。

**教委** 平和教育は、節目の年であることや昨今の世界情勢にかかわらず、本市が長年大切にしてきた平和に対する取り組みを各学校とともに続けていく。次世代を担う子どもたちが、学びの積み重ねにより平和の尊さをしっかり受け止め、成長していけるよう継続した取り組みを進めていく。

### マンション防災の支援強化を

**議員** 少しずつ進んでいるが、「まず防災意識の醸成」などの段階論に陥らず、他都市の先進例のように支援策を示すことが必要ではないか。

**市** マンション防災については、居住形態や構造上の課題があるため、避難マニュアルの作成支援や、エレベーター内に防災キャビネットの設置を啓発するなど、居住者の防災意識の向上を図る必要があると考えている。今後は、家具転倒防止のアドバイザー施策やマンション防災セミナーの開催に加えて、マンション管理組合に対してさらなる意識向上につながる支援メニューの拡充に努めていく。

### 議会BCP検証検討会議を設置しました

今年度も6月から議会BCP検証検討会議(座長:副議長、委員:5名(各会派からの推選))を設置し、令和7年度の議会機能継続訓練について検討すること等を目的に協議を行っています。災害時における対応を迅速に行い、議会機能の維持と市民生活の復興に寄与できるよう、体制づくりを強化していきます。

※BCPとは、災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画(Business Continuity Planning)のこと



議会BCP検証検討会議のメンバー  
(左から寺前議員、ひろせ議員、田原副議長、浅海議員、鼎山議員、岩岡議員)

### 議会報告会準備会を設置しました

本年6月に議会報告会準備会(座長:副議長、委員:5名(各会派からの推選))を設置し、議会報告会の開催に向けて協議を始めました。より多くの市民の皆さまにご参加いただき、議会での取り組みを知ってもらうにはどうしたらよいか、議会報告会の実施方法やテーマ等について、議論を重ねてまいります。

議会報告会の日程や開催方法等についての詳細が決まりましたら、市議会ホームページでお知らせいたします。

※議会報告会とは、市民に開かれた議会を目指し、議会活動の報告や、市政の課題について議員と市民で意見の交換を行う場として開催するもの



議会報告会準備会のメンバー  
(左から西崎議員、川島議員、田原副議長、西村議員、原議員、大原議員)

### ブランディングエリア活性化事業について

**議員** この事業は、笠谷工務店との随意契約だが、業者選定委員会の選定理由は？



**市** 昨年度は業者選定委員会での協議の結果、地域団体が推薦する業者であり、地域との良好な信頼関係の下、円滑な意思疎通を図る必要があるため、当該事業者でなければ業務遂行に支障が出ると判断した。

今年度も随意契約により業務を継続しているが、本業務の目的であるエリアプラットフォーム(ＡP)の構築や未来ビジョンの策定を官民連携で行うためには継続して地域と連携して業務を行う必要がある。昨年度に築き上げてきた経験や知識を持ち合わせている当該事業者でなければ業務遂行に支障が出ることを選定理由としている。

**議員** 業者選定委員会前に、職員が住民を対象に開催した芦屋ＡP会議の中で、この事業の委託候補を満場一致で笠谷工務店に決定し、委託に当たっての事務手続きが示されているが一体どういうことか。

**市** 芦屋ＡP会議において地域の皆さまが笠谷工務店にやってもいいという気持ちを持ち、市に託したいということで、会議の中では手続きをまとめただけである。業者の決定については、あくまで市が業者選定委員会を開催して決定している。

**◆その他の質問**  
・「道路・公園」街路樹の包括管理業務委託一本化で芦屋の緑は本当に守れるか

# 令和7年5月臨時会・6月定例会の審議結果



議案



請願

## ◆全議員が賛成した議案

条例	[一部改正] 市税条例／福祉医療費の助成に関する条例 など6件
一般案件	芦屋市立小中学校体育館空調設備設置工事請負契約の締結
人事案件	公平委員会委員の選任／人権擁護委員の候補者の推薦 など4件

## ◆賛否の分かれた議案等

件名	議員名	あしや政風会		日本共産党 芦屋市議会 議員団		公明党		日本維新の会		至誠会		会派に 属さない議員		議決結果										
		岩岡りょうすけ	福井利道	川上あさえ	原なつ子	福井美奈子	川島あゆみ	ひろせ久美子	平野貞雄	西村まさと	田原俊彦	帰山和也	浅海洋一郎	橋本隆	大原裕貴	西島健一	中島健一	寺前尊文	山口みさえ	中村亮介	たかおか知子	賛成	反対	棄権
請願	国に対し「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書」の提出を求める請願書（請願第11号）	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	10	9	0
出議員提案	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書（議員提出議案第12号）	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	10	9	0	

※ 「○」…賛成、「×」…反対、「-」…議長（議長は表決に参加しません。）

## 可決した意見書

6月定例会で可決した意見書は、地方自治法第99条の規定により、芦屋市議会からそれぞれの提出先に提出しています。

### 刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書（議員提出議案第12号）

賛成多数

#### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、法務大臣

#### 【内容】

再審制度は有罪判決に重大な瑕疵があった場合に救済する手続であるが、刑事訴訟法の再審規定は今なお戦前の規定がほぼ踏襲され、審理手続を定めた規定はないに等しい。また、捜査機関の証拠開示について明文規定がなく、再審開始決定に対する検察の不服申し立てが審理の長期化を招いている。再審無罪判決が幾つも出ていることを踏まえ、再審手続の整備が必要であり、冤罪被害者を迅速に救済するために再審規定の改正を速やかに行うよう求めるもの

## 議員研修会（施設見学）を行いました

7月4日に神戸市長田区にある刈藻島クリーンセンターを視察しました。

芦屋市は神戸市と可燃ごみの広域処理を開始することとなり、今後、可燃ごみの中継施設を整備していく予定であることから、神戸市内の可燃ごみを大型車両に積み替え、焼却施設に運搬する中継業務を行っている同センターを視察したものです。

センターでは、中継施設の設置により収集作業と輸送作業の分離が可能となり、大量一括輸送により車両台数が削減され、CO<sub>2</sub>排出量の削減にもつながる効果があるとの説明がありました。また、ごみピットに貯留されている可燃ごみをクレーンにより、10トンの大型トラックに積み替える作業を近くで見学しました。

今回の視察を踏まえ、本市における今後の中継施設の整備の進め方について、引き続き注視していきたいと思っております。



## 議会新体制紹介

### 議長・副議長などを選出

5月臨時会（5月16日）で議長・副議長をはじめ、議会役員を選出しました。なお、議長・副議長・阪神水道企業団議会議員は議員20名による投票により選出しています。

また、各常任委員会や議会運営委員会の委員なども選任し、議会の新体制が整いましたので紹介します。



【議長】中島 健一 【副議長】田原 俊彦

【阪神水道企業団議会議員】 橋本 隆

【監査委員（議会選出）】 川島 あゆみ

#### 【議会運営委員会】

委員長：寺前 尊文  
副委員長：川島 あゆみ  
委員：川上 あさえ 橋本 隆 西村 まさと

#### 【議会報編集委員会】

委員長：中島 健一  
副委員長：田原 俊彦  
委員：原 なつ子 浅海 洋一郎 川島 あゆみ 寺前 尊文 西村 まさと

### 常任委員会委員紹介

#### 総務常任委員会



浅海 洋一郎 委員長 福井 利道 副委員長 岩岡りょうすけ 委員 中村 亮介 委員 ひろせ 久美子 委員 中島 健一 委員 帰山 和也 委員

#### 民生文教常任委員会



川上 あさえ 委員長 山口 みさえ 副委員長 原 なつ子 委員 西島 健一 委員 川島 あゆみ 委員 橋本 隆 委員 田原 俊彦 委員

#### 建設公営企業常任委員会



福井 美奈子 委員長 西村 まさと 副委員長 たかおか 知子 委員 寺前 尊文 委員 大原 裕貴 委員 平野 貞雄 委員

### お悔やみ申し上げます

長谷基弘議員（66歳・会派に属さない議員）が5月5日にご逝去されました。平成3年4月に初当選し、副議長、監査委員などの要職を歴任され、8期（30年）にわたり、住民の福祉向上と市政の発展のためにご尽力いただきました。心からの感謝と哀悼の意を表します。



議会のナゼ? なに? 再発見!

# 議会クイズ 第51回

◆問題 【出題者】川島あゆみ委員  
6月議会では、国に対して「再審法」の改正を求める請願・意見書を審議しましたが、刑事事件における再審に関する規定は次のどの法律に定められているでしょうか。

- ①刑法 ②刑事訴訟法 ③地方自治法

◆前回のクイズの答え ※前回の応募件数は105件  
「芦屋市議会で計画の策定や訓練をするなど積極的に取り組んでいる「議会機能継続計画」の略称は、次のうちどれでしょうか。」の正解は「③議会BCP」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)を差し上げます。  
正解は11月発行予定のあしや市議会だより134号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議長・副議長による抽選会

## ◆応募方法

「専用フォーム」、「電子メール」、「はがき」にて、住所・氏名・年代・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。  
※メールで応募する場合、件名は「第51回議会クイズ応募」としてください。  
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善のための参考にさせていただきます。

## ◆応募締め切り

令和7年(2025年) 8月26日(火)まで  
※当日消印有効

## ◆応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号  
芦屋市役所 市議会事務局  
メールアドレス: gijityousa@city.ashiya.lg.jp  
※個人情報や賞品の発送以外には使用しません。  
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



専用フォーム

## 市議会ホームページで なにができる?

芦屋市議会



### 市議会だよりの電子版を読む

市議会だよりのPDF版を掲載しています。また、スマートフォンアプリ「マチイロ」も利用可能です。(アプリの利用方法も併せて市議会ホームページに掲載しています。)

### 会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

### 本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信しています。また、会議終了後、おおむね3日後から1年間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレット端末でも閲覧が可能です。

### 過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会等の会議録を調べたり、見たりできます。

### 政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

### 議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

### 議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議結果、議員一人一人の賛否などを公開しています。また、委員会で使用する資料や、委員会に送付した陳情書も公開しています。

### 請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

## 9月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどでお確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
8/25	26	27	28 議会運営委員会	29 本会議(提案説明)	30	31
9/1 建設公営企業 常任委員会	2 民生文教 常任委員会	3 総務 常任委員会	4 委員会 (予備日)	5 議会運営 委員会	6	7
8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議(一般質問等) 決算特別委員会	11 委員会 (予備日)	12	13	14
15	16	17	18 議会運営 委員会	19 本会議 (決算以外採決)	20	21
22 決算特別委員会 (建設公営企業分科会)	23	24 決算特別委員会 (民生文教分科会)	25 決算特別委員会 (総務分科会)	26 決算特別委員会 (分科会予備日)	27	28
29 決算特別委員会 (分科会予備日)	30	10/1	2	3 決算特別 委員会	4	5
6	7 議会運営 委員会	8 本会議 (決算採決)	9	10	11	12

●本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。

## 編集後記

間もなく終戦80年、芦屋市議会が「非核平和都市宣言」を決議して40年を迎えます。世界では戦争の報道が絶えず、核リスクの懸念も拭えません。時の権力者の判断がいかん世界を揺るがすか、平和が当然のものではなく「人々が追求してつくり上げるもの」と再認識し、恒久平和の実現に向けた決意を強くする日々です。

【編集委員】 寺前 尊文